

若者のまちづくり意見を

市長に提言

「市長と語ろう！〜これからのまちづくり」と題し、高校生と市長が対話する意見交換会が開かれました。参加者からは通学時の交通安全や交通便利性に関する意見や、市の良さを一層広めるための情報発信手段の提案など、日ごろ感じている思いが幅広く寄せられました。

まちづくりに関して意見を出し合った参加者



高校生11人が 机を囲み意見交換

意見交換会は、市長マニファエストの方針の一つ「市民参加のまちづくり」を進めるため行っているタウンミーティング制度、「まちづくり座談会」の一環として実施。市内の高校に通う若者たちからの率直な意見を伺うため、机を囲み顔を合わせての意見交換を1月21日に行いました。今回参加したのは、県立匝瑳高校と敬愛大学八日市場高校の生徒11人。「これからのまちづくり」をテーマとして、

若者視点の アイデアを提案

『普段の生活で感じている匝瑳市の良いイメージ・悪いイメージ』『匝瑳市はこうしたらもっと良くなるのではないかなと思うこと』といった観点から、各校の生徒一人ひとりが市長に意見を伝えました。敬愛大学八日市場高校の久古亜里紗さん（1年）は、通学路や自宅近くの道路を例に出し自動車の運転マナーについて指摘。交通事故の防止について提案をしました。同校の園部菜々美さん（同）は、夜間における通学路の防犯対策のため街灯（防犯灯）の設置について提案しました。また、匝瑳高校の高野萌恵さん（1年）は、工場誘致などによる若者の働く場所の確



真剣な眼差しで市長の発言に耳を傾ける

保や海岸付近の景観保全、高齢者の触れ合いの場づくりについて提案。「民芸品を若者向けにリメイクし、飯高檀林跡などに置けば外国人観光客にも喜ばれるのでは」とのアイデアも披露しました。この他、「若者向けにSNS*を活用した情報発信」「匝瑳市を訪れる人を増やすためのPRの取り組み」など、高校生ならではの視点から意見を発表。市の実情を踏まえた市長からの回答がなされると、全員が真剣な眼差しで耳を傾けました。

※ソーシャル・ネットワークキング・サービス

皆さんの意見を
まちづくりに

市長と 語りませんか

「まちづくり座談会」は、皆さんのご意見やご提言などを市政に反映させるため、団体やグループが開催する座談会に市長が出席し、まちづくりに関する意見・提言を直接伺うスタイルのタウンミーティングです。

意見交換を通じて、ともに住みよいまちづくりを進めていきたいとお考えの皆さんは、まずは秘書課広報広聴班（☎73・0080）までご連絡ください。

実施概要

■対象

座談会を開催できるのは、地区コミュニティ組織または市内が活動拠点の各種団体、グループ（政治団体、宗教団体を除く）で、原則10人以上とします。団体やグループには、市外からの通勤者・通学者が含まれていても構いません。

■テーマの設定

座談会は、テーマに沿って意見交換をします。テ



意見交換会に参加した高校生。終了後の撮影では緊張が解けた様子

高校生から出された意見と市長の回答 (要旨)

意見内容と発言者。⇒は回答

▷交通安全 ■通学路の歩道が狭く、朝のラッシュ時、商店街周辺が特に危ない。信号があったらいい。[匝瑳高・根津さん]

■商店街の丁字路に信号を設置したら車との接触事故が起こる可能性が低くなると思う。[同・宇井さん] ■八日市場幼稚園近くの道路で事故が多く、信号無視をする車も多いので危ない。また、夕方の信号は、夕方は逆光で信号が見えづらく、危ない。[敬愛大学八日市場高・久古さん]

⇒ (整備箇所の説明があり) 市としても信号設置を望んでいる。歩道・休憩場所ができた箇所があるが、信号や歩道の要望箇所を把握し、できるだけ対応したい。ご意見の場所を警察に伝え確認してもらおう。

▷駅的环境整備 ■八日市場駅改札前の休憩スペースを広げてドアで隔てれば、通勤ラッシュ時や、大きな荷物の人とぶつからず、危険なく通れると思う。[匝瑳高・大山さん]

⇒ JRと市は連携し、意見交換も行っている。今回ご意見があったことを伝えたい。

▷バスの利便性向上 ■本数が少なく登下校に不便だと聞いた。登下校時間帯に合わせて少し本数を増やせば、生徒も利用しやすくなるではないか。[敬愛大学八日市場高・伊藤さん] ■市内外を行き来できるバスを増やしたり、運賃を安くしたりすれば、もっと人が行き交いにぎやかな市になると思う。[匝瑳高・大木さん]

⇒ 各自治体でバス交通については苦慮しているところ。バス会社に一生懸命交渉してみる。また、本数の増加や低料金化について学生も懇願していることをバス会社へ申し添えたい。

▷観光・PR ■観光地を増やしたり、匝瑳の名物などのポスターなどを駅舎に張ったりすればより目に付いて、匝瑳市を訪れる人が増えるのではないか。[敬愛大学八日市場高・石井さん] ■若い人が匝瑳市に来たいと思う場所、好きな場所を造ってはどうか。また、若い人が行くところを分散させるようにするというのはいいのではないか。[同・馬場さん]

⇒ (観光施策の説明があり) 公共施設や乗り物にポスターを張るなど、対外的にもっとPRすべきという意見で観光資源を生かしていきたい。また、SNSの活用との意見もあった。新しい手法で若者の気持ちを捉えていくことが大事ということで参考としたい。

▷環境美化 ■畑・田んぼなどにごみが多く捨てられると聞いた。ボランティアでごみを減らす運動を行ったらいいと思う。[敬愛大学八日市場高・椎名さん]

⇒ (ゴミゼロ運動などの説明があり) 捨てられている場所があればご連絡いただきたい。

▷防犯 ■通学路に街灯が少なく、夜危ないので街灯を増やしてもらいたい。[敬愛大学八日市場高・園部さん]

⇒ (防犯灯の概要説明があり) 要望箇所を遠慮なく寄せてもらいたい。可能な限り対応したい。

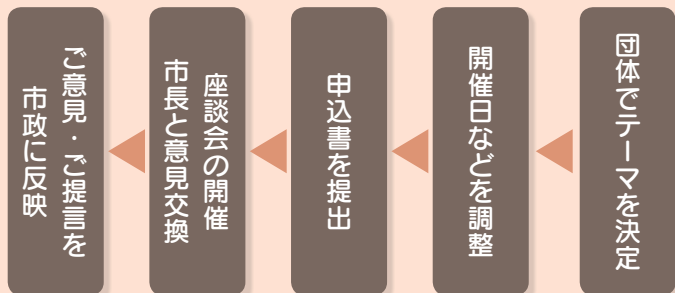
▷雇用創出・高齢者の活躍 ■1点目は工場など若者の働く場所を誘致すれば少子高齢化を少しでも改善することができると思う。2点目は海岸付近の景観が良くなれば、活気を取り戻すことができると思う。3点目は高齢者の触れ合いの場を増やせば、市全体の雰囲気により明るくなり、一体感が強まると思う。[匝瑳高・高野さん]

⇒ 若者の働く場所やお年寄りの触れ合いのできる場所、観光面で景観の素晴らしいまちにしたいということは、私が先頭に立ち検討している。時間は掛かるが努力させてもらう。

▷その他自由意見 ■学校でペットボトルのキャップを集めてワクチンに変える取り組みを行う予定。生徒会でキャップを送るのが難しいので、市が一括してキャップを集め、団体に送れるような取り組みがあればいいと思う。[敬愛大学八日市場高・伊藤さん]

今回紹介した意見・提言は抜粋したものです。当日の議事概要(出席者および市長の発言)は市ホームページ(「市長の部屋」コーナー内「タウンミーティング」ページ)で紹介しています。

座談会の流れ



マ例は「地域活性化への提言について」「子育て支援事業について」などです。※単なる要望や苦情相談、特定の個人や団体の権利に関することなど、市全体や地域のまちづくりの推進に関係のない事項は対象となりません。

■開催日・時間
座談会の開催日・時間は、平日は10時から21時まで、土・日曜日は10時から17時までのそれぞれ2時間以内とします。